

## 計画における目標値と実績について

### 成果目標

- (1) 施設入所者の地域生活への移行
- (2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
- (3) 地域生活支援体制の強化
- (4) 福祉施設から一般就労への移行等
- (5) 障害児支援の提供体制の整備等

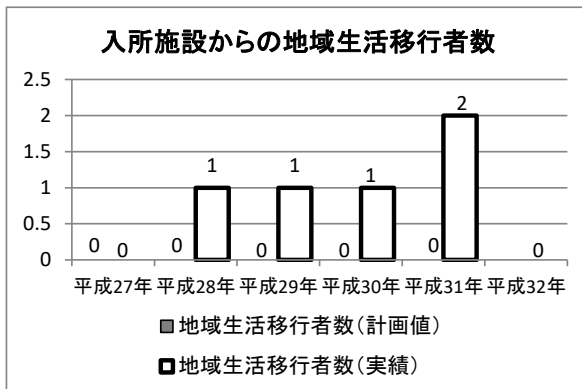
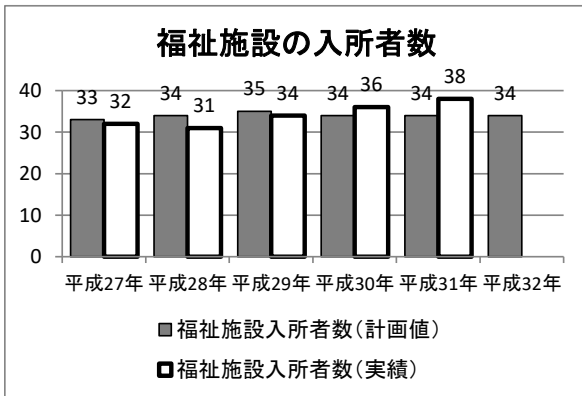
### (1) 施設入所者の地域生活への移行

#### 【第5期障がい福祉計画】P40

- ・地域生活の支援体制が十分に整っているとはいきれない現状のサービスの枠組みの中で、現在の施設入所者について地域生活移行を行うことは、かえってQOLの低下につながるが見込まれます。
- ・地域移行者数についての成果目標を設定することは困難な状況のため0人としています。
- ・今後、施設入所を希望される人については、グループホームなど、地域で暮らせる体制整備を進めていく必要があります。

	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
福祉施設入所者数(計画値)	人	33	34	35	34	34	34
福祉施設入所者数(実績)	人	32	31	34	36	38	

	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
地域生活移行者数(計画値)	人	0	0	0	0	0	0
地域生活移行者数(実績)	人	0	1	1	1	2	



## (2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

### 【第5期障がい福祉計画】

保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置について令和2年度末までに甲賀福祉圏域で設置をめざします。

・長期入院に至っている人が、自ら望む生活を選びとっていけるよう、退院後の地域生活移行および地域定着の促進に関する協議の場の設置について、甲賀地域障害児・者サービス調整会議で進めます。

## (3) 地域生活支援体制の強化

### 【第5期障がい福祉計画】

地域生活支援拠点等として緊急時に対応できる機能を有する体制について令和2年度末までに甲賀福祉圏域で設置をめざします。

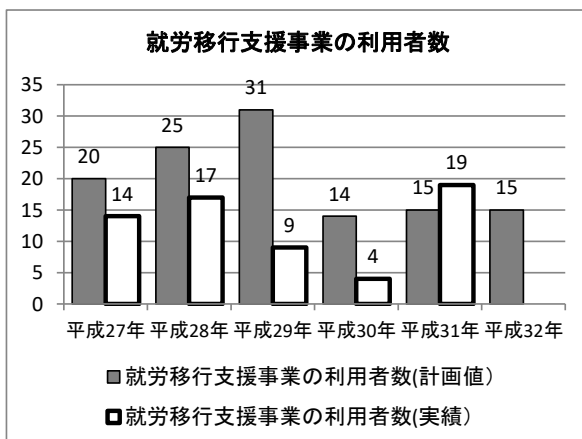
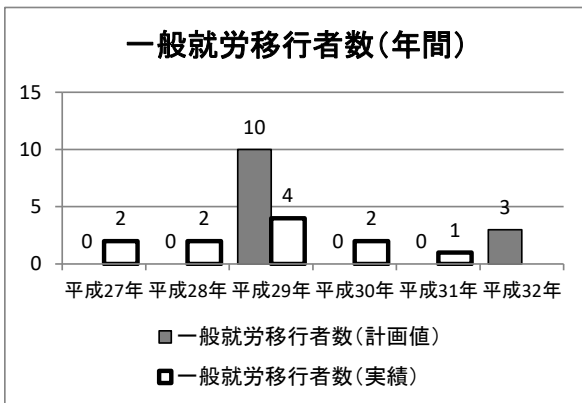
・既存の社会資源の活用を視野に入れて、どの機能を充実・強化させて、どのような体制を構築するか、地域として具体的に進めるための検討を、甲賀地域障害児・者サービス調整会議で行い、令和2年度末までの整備を成果目標とします。

## (4) 福祉施設から一般就労への移行等

### 【第5期障がい福祉計画】

甲賀地域障害児・者サービス調整会議や就労支援関係機関および湖南市障がい者就労情報センター、チャンスワークこなん等で築いてきた、企業、就労支援機関、福祉関係者などのネットワークを発展させ、既存の就労相談機関などとの役割分担を図りながら、一般就労に向けた取り組みを支援していきます。

	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
一般就労移行者数(計画値)	人	—	—	10	—	—	3
一般就労移行者数(実績)	人	2	2	4	2	1	
就労移行支援事業の利用者数(計画値)	人	20	25	31	14	15	15
就労移行支援事業の利用者数(実績)	人	14	17	9	4	19	



## (5) 障がい児支援の提供体制の整備等

### 【第5期障がい福祉計画】

- ・主に重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所を平成30年度末に甲賀福祉圏域で一か所設置することができました。
- ・医療的ケア児支援協議の場として、重度心身障がい部会を甲賀福祉圏域で設置することができました。